



# 米商進路だより

令和5年2月27日発行  
山形県立米沢商業高等学校  
進路指導部（第32号）

## 《 桜咲く！ 自分探しの旅へ 》

プロ野球選手のイチローが日本で引退試合をしたときに「次はぜひ学校の先生をやってみたい。なんといっても、卒業生たちが学校に戻ってくる。それが醍醐味。」と話をしていました。実際に、オフシーズンになると高校野球部を突撃訪問し指導をしている姿は幾度となくメディアに取り上げられました。つまり、私たち教職員の醍醐味は苦楽を共にした卒業生が母校へ戻ってくると言っても過言ではないのです。

さて、「桜咲く」というタイトルは、かつて担任をしていたときの3年生の学級だよりの名称です。春を迎えると暖かくなり、草花が目覚めそうとします。しかし、ただ種を蒔いただけではいい花は咲かず実もなりません。美しい花を咲かせて、豊かな実りを得るには、土を耕し肥料をやり、水を上げて周囲の雑草を取り除くことが植物の成長には欠かせないのです。

これは、皆さんの人生においても同じことです。何でもそうですが、最初に「自分」という土を掘り起こし「やる気」を発掘しなければなりません。そこから、額に汗をかくことで、今までの習慣を見直す勇気と行動力が芽生えてきます。そして、将来像が見えてくると、周囲の誘惑から負けない“やる気スイッチ”が入り、目標に向かって邁進することができるのです。

3年生の学校生活はコロナからのスタートでした。入学式は2週間遅れて異例の学校生活となりましたが、検定試験の結果を見れば昨年度よりも全商1級3種目以上の合格者を多く輩出できています。これは、目標を見据えて、“やる気スイッチ”をオンにすることで、一人ひとりの到達点に辿り着くことができた証であり、「やればできる」ということを証明してくれました。

また、今の自分があるのは、多くの先生方にお世話になったおかげであるということです。特に、学年団並びに担任の先生方には進路決定をするまでに丁寧な指導をいただきました。夏休みの就職活動（求人票の見方を含めた応募前の企業訪問）、三者面談、履歴書作成、小論文作文指導、志望理由書の作成など、分からないことを一つ一つ解決したからこそゴールが見えて今の自分があるのです。

3年生にとっては卒業という新たな出発が待ち受けていますが、同時に「自分探しの旅」が始まるのです。お世話になった先生方に「おかげさま」「ありがとう」という感謝を述べることで高校生活を卒業し、次のステージへのお出発点になると捉えてください。先生方にとっては“教職員”という仕事の醍醐味に繋がり、安堵感に包まれる瞬間だと思っています。

## 《 1・2年生へ 》

裏面の進路概況を見て、自分の進路について考えて見て下さい。就職も進学も「進路を探究」することが合格内定への第一歩です。